

# 東九州自動車道（佐伯IC～蒲江IC間）の開通効果について概観

東九州道（佐伯IC～蒲江IC間）が平成27年3月21日に開通し、大分から宮崎までがつながったことによる、開通の効果として蒲江地区について救急活動、地域の活性化について整理をしました。

1. 救急医療活動に貢献（資料－1）
2. 地域活性化を支援（資料－2）

# ～ 高速道路のストック効果 安全・安心を支える ～

資料-1

## 東九州自動車道(佐伯IC～蒲江IC間)開通により迅速・安全な救急医療活動が可能

- 東九州自動車道(佐伯IC～蒲江IC間)開通により、蒲江地域から市内医療機関への搬送時間が短縮しました。(約7分短縮:下記データの短縮時間平均)
- 搬送時の走行性が向上し、患者の負担が軽減しました。

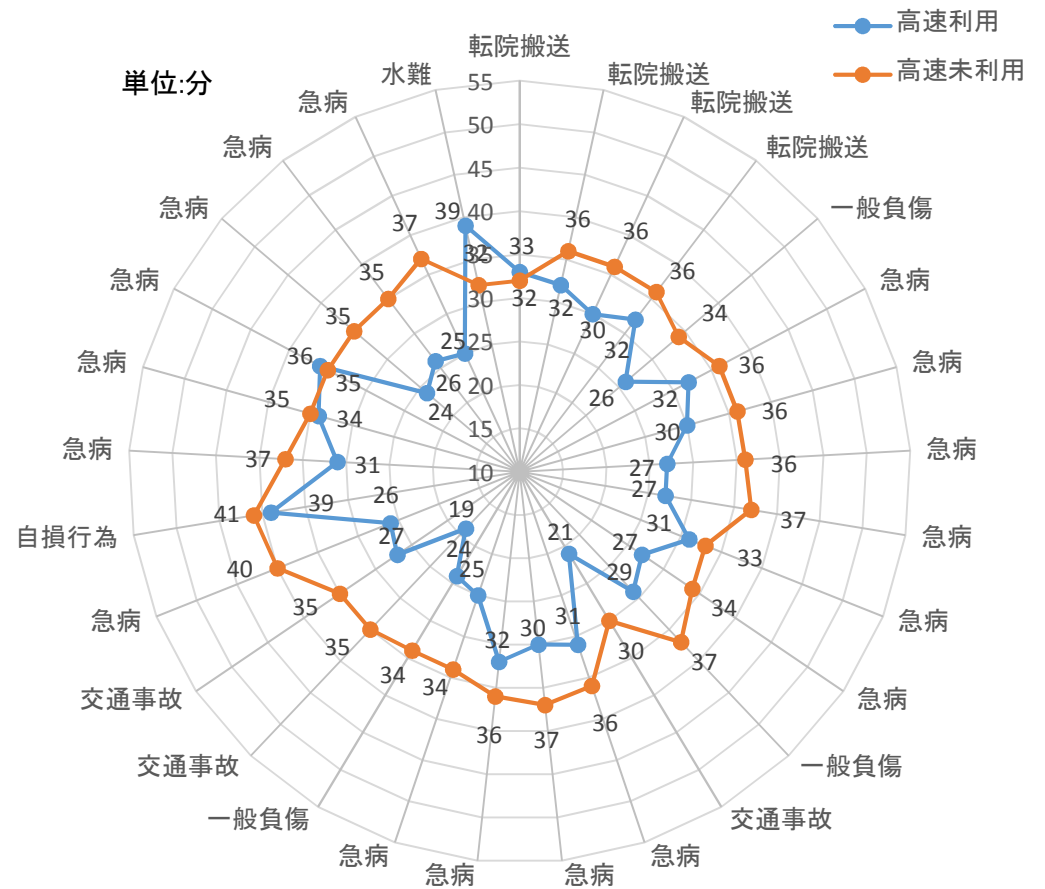


- ・時間短縮ができ、帰署までの時短により次の出動態勢が早くとれる。
- ・峠やカーブが少ないため隊員が車内での患者への処置が行いやすい。
- ・峠やカーブが少ないため患者の負担が大きく軽減されている。

### □市内搬送先病院

- 蒲江地区 →
- 曾根病院
  - 南海医療センター
  - 西田病院
  - 長門記念病院
  - 佐伯中央病院
  - 佐伯保養院

蒲江から市内病院への症例別の搬送時間比較



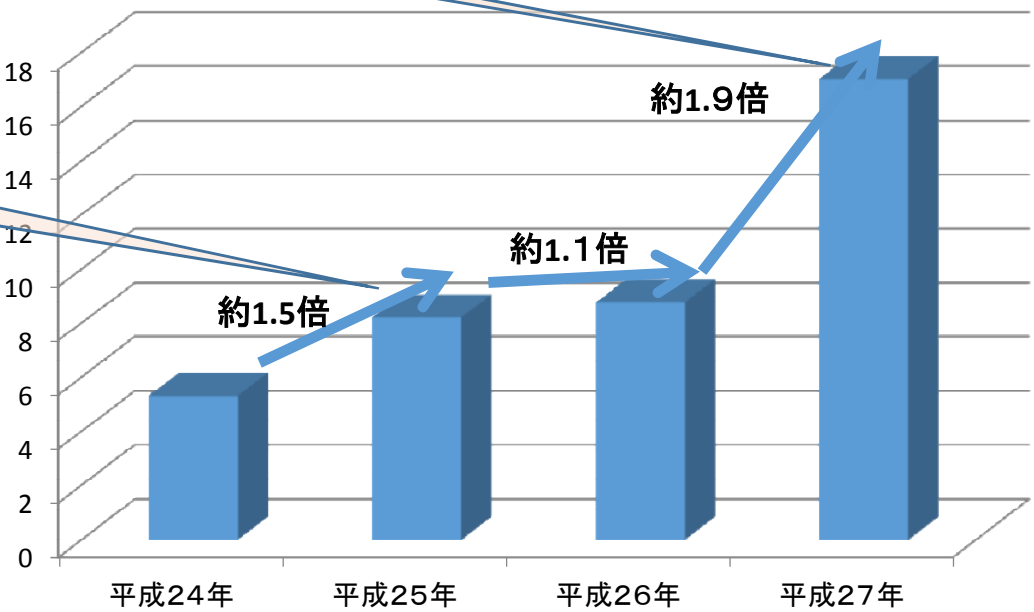
# ～ 東九州自動車道のストック効果で賑う日豊海岸 ～

東九州自動車道(蒲江IC～北浦IC、佐伯IC～蒲江IC)開通により観光施設等の利用者が増加

- 東九州自動車道の開通により、日豊海岸の観光施設等の利用が増加
- 地元の新たな施設整備により、地域の観光活性化の支援



蒲江地域 3観光施設における入込客数の変化 (3月-5月期)



※蒲江地域3観光施設  
 大分県マリンカルチャーセンター、道の駅 かまえ  
 かまえインターパーク(H27.3.オープン)  
 ※入り込み客数  
 当該年における3月～5月期の レジ客数等で算出

出典:佐伯市地域振興部観光課